

「グローバル人材活用運営協議会」の設立について

関西経済連合会は、留学生の就業支援に取り組んでいる大学、大学コンソーシアム[※]、行政、経済団体等とともに、関西における留学生数の拡大、留学生の就職者数の拡大を通じて地域経済の活性化を図るため、6月20日（木）、産学官協働による「グローバル人材活用運営協議会」を設立することとしました。

現在、留学生がそのまま日本国内で就職する割合は約2割に過ぎず、さらに、その就職先を地域別に見ると、約半数は東京であり、大阪は1割にも満たない状況です。また、グローバルに事業を展開している企業にとっては、即戦力となる留学生に、日本、関西で就職してもらいたいとの声もあがっております。そこで、当会では、2011年10月、労働政策委員会・人材育成専門委員会に「グローバル人材活用研究会」を設置し、産学官協働による留学生の就業支援の強化に向けて検討を重ねてまいりました。

そのなかで、留学生と企業との間で交流する機会が不足しているため、特に、中小企業の技術力などについて情報がうまく留学生に伝わっていないことや、企業が開催するインターンシップや就職セミナーに留学生が参加しても、春の一括採用が多くを占める日本の採用慣行が留学生に十分に認知されていないため、その後、どのように就職活動をすれば良いかわからず、就職活動に乗り遅れてしまうといった課題などが明らかになりました。

研究会では、これらの解決策として、留学生に対する日本語や日本文化の習得から、インターンシップ、就職セミナーの参加など、留学生が日本の大学に入学してから卒業、就職に至るまでの一貫したプログラムを用意する必要があるとの結論に至り、今回、「グローバル人材活用運営協議会」の設立に至ったものです。

「グローバル人材活用運営協議会」の事業としては、以下の5つを掲げており、協議会設立後、速やかに開始いたします。

- ①留学生の日本語及び日本の生活習慣習得のための低学年次からの支援
- ②セミナー・産学交流会を通じた留学生と企業の出会いの場の提供
- ③インターンシップを通じた留学生と企業のマッチング支援
- ④日本企業に就職した留学生の定着支援
- ⑤フェイスブックによる事業周知と留学生と企業とのネットワークづくり

関西経済連合会では、本協議会を通じて、留学生と企業をつなぐ役割を果たし、関西経済の発展に貢献できるように、今後も積極的に活動してまいります。

※大学コンソーシアム

- ・大学教育に対する社会の期待や学生のニーズの多様化に対応するために、大学間の相互連携を深めることを目的に構成する団体。事業例としては、加盟大学間での単位互換制度の導入や、インターンシップの派遣先の調整などがある。

【グローバル人材活用運営協議会 設立までの経緯】

- 2011年 10月 労働政策委員会・人材育成専門委員会に「グローバル人材活用研究会」を設置
2012年 11月 意見書『産学官共働事業による留学生の就業支援の強化に向けて』公表
2012年 12月 「グローバル人材活用運営協議会（仮称）」準備会の設置
2013年 6月 「グローバル人材活用運営協議会」の設立

【添付資料】「グローバル人材活用運営協議会」概要

<本件問合せ先>

関西経済連合会 企画広報部 高橋、川本、鍵田 TEL : 06-6441-0105

以 上

グローバル人材活用運営協議会 概要

<設立月日>

2013年6月20日

<所在地>

関西経済連合会内に事務局を設置

(住所：大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階)

<役員>

- ・会長
日東電工株式会社 相談役 竹本 正道 氏
- ・副会長
国立大学法人神戸大学 理事 副学長 藤田 誠一 氏
学校法人立命館 副総長 小木 裕文 氏
- ・顧問
立命館大学 名誉教授・アジア太平洋大学初代学長 坂本 和一 氏

<事業概要>

留学生の就業支援のため、日本語・日本文化の習得から、産学交流会やインターンシップへの参加、就職セミナーなど、留学生が大学に入学してから卒業、就職に至るまでの一貫したプログラムを、産学官が協働で展開する。

<構成機関>

- ・経済団体 : 関西経済連合会、関西生産性本部、京都経済同友会、堺経営者協会、滋賀経済産業協会、アジア太平洋研究所、太平洋人材交流センター
- ・大学 : 京都大学、大阪大学、神戸大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、関西外国語大学
- ・大学コンソーシアム : 大学コンソーシアム京都、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアムひょうご神戸
- ・行政機関 : 近畿経済産業局、大阪労働局

※オブザーバーとして、関西広域連合が入る予定。

以 上